

「交流サロン」だより in 大仙 2月号 2026

早々と春の兆しの訪れかと思わせる日が続いている昨日今日、晴れてお日様が照ると強烈な日差しが強さに驚くと共に今年はどうな夏になるのかと不安になるような異常を感じます、また、極端な大雪に極端な日照り、農業を行うのには厳しい時代となるのでは……

今年も天候を予測しながらの「そば」作りになりそうです。さて、話は変わりますが、きたる三月十一日であれから十五年となります。時の経過からすると復興もそれなりに進み、そろそろ終盤を迎えているのではと思う方々が大半ではないかと想います!!しかし、全国の避難者数は二万六千六百人弱(十一月一日現在)と云うことを考えると決して少なくないのでは、いまだに帰る所がない(放射能汚染などで)など、まだまだ復興道半ばではと感じてしまいます。人間の力では防ぎきれない強大な自然災害、その時巻込まれ九死に一生を得た方が、防災について語り部となって活動している姿を最近多く見かけるようになりました。私も秋田沖地震や東日本大震災を経験したことから、発災時に取るべき行動を理解(認識)することが自らを生かす一番の方法と思ひ講演に赴いています。

マイフォト「春の兆し!!」

令和8年2月26日 11:50頃



マイフォト一言

先月の風雪とは比べ物にならないこの天気、まだ二月ですよ!!田圃の雪も三分の一程になり、鳥海山の麓もなんとなく雪が消え始めているように見えます。「こまち」は日差しを浴び光り輝き、颯爽と「東京」に向かっているように感じた今日、それとは裏腹、一ヶ月も早く雪解けが起きている状況をただ喜んでいく訳にはいかないような気がします。しかし、あの一月二月を考えると天国のようです……先を考えるのと暗くなりますから、今を満喫!!



50食の昼食準備中

今日の「交流サロン」から

今年も当サロン最大のイベントがこの二十一日開催されました。前日の午後から皆さんのご協力を頂き当日の昼食づくりに励んでもらったお陰様で、時間

3月の交流サロン
3月22日(日)
「茶話会」
今年度の反省と施設に感謝を込め、調理室の清掃を行いたいと思います。
ご協力、お願いします!
時間 10時~15時
場所 はびねす大仙
参加費 三百円
小学生以下無料

まで五十食分を作り上げることが出来ました。さて、当日は、「グループかせ」の皆さんによる「音楽と朗読」による公演、今年も大いに盛り上げていただきました!!陰で昼食準備中の私はちよっぴり悔しさに、唇をかみしげながら盛付に精を出していました。当日のメニューは、筍ご飯、筑前煮と切干大根のカレー味、小松菜の辛し和えお新香にオレンジ添えと豚汁(定番)でした。総勢三十五人で食べる食事は壮大でこれぞ交流会と言つ思いで眺めて感動していました。何時も思っていることですが、食事を機会に知らない同士で会話が弾み、そしてそれが次につながる、孤独から解放される、そんな機会になってくれればと願っています。 お代わり頂きました!!



手話付で「朗読と音楽」の公演



グループかせの皆さんと「昼食で交流会」

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇一九六七〇二二八五二